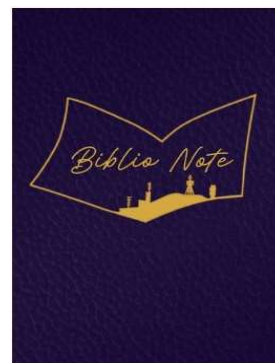




生駒市出身作家、森見登美彦さんからご寄付いただきました —ビブリオバトルを記録できるオリジナルノート「Biblio Note」

生駒市図書館と市民団体の生駒ビブリオ倶楽部では、ビブリオバトルを毎月開催、例年3月には全国大会も開催し、ビブリオバトルと読書の楽しみの普及に努めています。

今回、2025年3月に開催した「第10回ビブリオバトル全国大会 in いこま」のゲスト作家である森見登美彦さんから、生駒市におけるビブリオバトルの更なる発展を祈念しオリジナルノートのご寄付がありました。



表紙イメージ

■ 「Biblio Note (ビブリオノート)」について

生駒ビブリオ倶楽部のみなさんが表紙から内面のデザインまで約1年間かけて構想してきました。ビブリオバトルをより楽しむために工夫して作られた、これまでにないこだわりのノートです。寄付者である森見登美彦先生の直筆のメッセージが印刷されたページもあります。

これからさらにビブリオバトルを盛り上げるため、毎月開催の「ビブリオバトル in いこま」および年1回開催の「ビブリオバトル全国大会 in いこま」にてチャンプ本獲得者への景品として進呈されます。(非売品)

- サイズ B6版
- 内容
 - ・森見登美彦さんによるメッセージのページ
 - ・参加したビブリオバトルを記録するページ
 - ・読書記録などに使えるリストページ
 - ・自由記述(5mm方眼)ページ
 - ・ビブリオバトル in いこまの歴史ページ



■ 森見登美彦さんプロフィール

1979年、奈良県生駒市生まれ。作家。京都大学在学中に執筆した『太陽の塔』で2003年、第15回日本ファンタジーノベル大賞を受賞してデビュー。06年『夜は短し歩けよ乙女』で山本周五郎賞を受賞、第137回直木賞の候補となり、翌年の第4回本屋大賞の2位を獲得した。その後、10年『ペンギン・ハイウェイ』で第31回日本SF大賞受賞、14年『聖なる怠け者の冒険』で第2回京都本大賞受賞、17年『夜行』で第7回広島本大賞受賞、19年『熱帯』で第6回高校生直木賞受賞したほか、映像化・舞台化された著書も多数。

この件に関する報道関係からのお問合せ

生駒市生涯学習部図書館(館長 西野) ☎0743-75-5000